



一般社団法人日本スクエアダンス協会

一般社団法人 日本スクエアダンス協会

事務局：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目7番地 神田ミハマビル 4階

電話：03-6240-6560 FAX：03-6240-6561

E-mail： squaredance@giga.ocn.ne.jp

Website <http://www.squaredance.or.jp/>

平成 29 年 7 月 3 日

クラブ代表者各位

愛好者の高齢化への対応について アンケート調査依頼

一般社団法人 日本スクエアダンス協会 事務局

前略お許し下さい。

過日開催の平成 29 年 S 協定時社員総会におきましては、各クラブからのご出席、あるいは議決権行使（委任）によるご参加をいただき、ありがとうございました。

後日 総会議事録をお送りしご報告いたしますが、当日提案の議案につきましては、すべてご承認をいただきました。本年度事業計画、予算をもとにスクエアダンスの普及につき、いっそうのご協力・ご尽力をいただきますよう よろしく お願い申し上げます。

本年度事業計画にも提案されておりますが、“高齢者に対する普及方策”が大きな課題のひとつになっております。その一環としましてアンケート調査を実施する旨を総会においてご説明申し上げます。

つきましては、別紙のとおりアンケート調査をお願いいたしたく、各クラブの状況等につきまして、お分かりの範囲でご回答いただきますよう よろしく お願いいたします。

なお、総会時にご説明用に配布致しましたアンケート用紙にて、すでにご返信いただきましたクラブにおかれましては、添付のアンケート用紙をご確認いただき、修正がなければ、そのご返信をご回答とさせていただきますので、重ねてのご返信は不要です。（修正がある場合は、恐縮ですが、再送をお願いいたします。事務局にて差し換えます。）

添付の依頼状に記しておりますが、S 協ホームページ・“資料・様式のページ”に本アンケートにつきまして掲載しております。

インターネットをご利用の各位には、S 協ホームページからアンケート用紙を取り出し、パソコンで記入・回答できるようにしておりますので、アンケート回答を下記 S 協メールアドレスまでご送付いただきたくお願いします。

インターネットをご使用でない場合は、同封のアンケート用紙にご記入のうえ、郵送・ファックスで、S 協事務局あてご返送ください。恐れ入りますが、郵送・ファックス代金につきましては貴クラブの負担にてお願いします。

なお、70 歳以上の会員がいらっしゃらない場合、70 歳以上かどうかわからない場合も、高齢化への対応について、ご意見を含めご記入いただき、返送いただければ幸いです。

記

アンケート回答締切期日： 平成 29 年 8 月 10 日（木）

アンケート回答送付先： 一般社団法人 日本スクエアダンス協会 事務局

メールアドレス squaredance@giga.ocn.ne.jp

ファックス番号 03-6240-6561

郵送先 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-7 神田ミハマビル 4階

以上



一般社団法人日本スクエアダンス協会

一般社団法人 日本スクエアダンス協会

事務局：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目7番地 神田ミハマビル 4階

電話：03-6240-6560 FAX：03-6240-6561

E-mail： squaredance@giga.ocn.ne.jp

Website <http://www.squaredance.or.jp/>

平成29年7月3日

クラブ代表者各位

会 長 沖吉 和祐
普及特別委員長 中村 禮子

愛好者の高齢化への対応について アンケート調査へのお願い

会員の高齢化については、クラブにとっても、また、これからのスクエアダンスの普及・発展においても大きな課題になっております。

このような観点から今S協として、「愛好者の高齢化への対応」について、取り組みを進めていくことが求められています。

つきましては、別紙のように、高齢者の状況と課題を把握するために、「70歳以上の会員についての実態調査」を行いたいと思います。

日本全国でどのくらい会員の高齢化が進んでいるか、また高齢化で問題になっている課題、クラブ運営で工夫していることなどを把握しながら、来年度事業に繋げていくために、アンケート調査を実施いたします。

お忙しい中とは思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

インターネットをご利用の各位には、S協ホームページからアンケート用紙を取り出し、パソコンで記入・回答できるようにしておりますので、アンケート回答を下記S協メールアドレスまでご送付いただきたくお願いします。

インターネットをご使用でない場合は、同封のアンケート用紙にご記入のうえ、郵送・ファックスで、S協事務局あてご返送ください。恐れ入りますが、郵送・ファックス代金につきましては貴クラブの負担にてお願いします。

なお、70歳以上の会員がいらっしゃらない場合、70歳以上かどうかわからない場合も、高齢化への対応について、ご意見を含めご記入いただき、返送いただければ幸いです。

記

アンケート回答締切期日： 平成29年8月10日（木）
アンケート回答送付先： 一般社団法人 日本スクエアダンス協会 事務局
メールアドレス squaredance@giga.ocn.ne.jp
ファックス番号 03-6240-6561
郵送先 〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 1-7 神田ミハマビル 4階

以上

愛好者の高齢化への対応について（ご連絡とお願い）

平成 27 年から 3 年間の中期行動計画に高齢者に関する項目が盛り込まれ、本年度が最終年度となっています。年々愛好者の高齢化が進み、愛好者の高齢化への対応について、S 協として 前向きに取り組むを進めたいと考えています。

つきましては、高齢者のダンスの状況と課題をご連絡申し上げますとともに、今後の対策を検討するため、皆様のクラブの様子について把握いたしたく、お手数をおかけしますが、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

会員の皆様の年齢等については把握が困難な面がありますが、概略を把握していただいている範囲で結構です。

1. 愛好者の高齢化の状況

高齢期を迎える前にスクエアダンスを始められた方は、自身の体力や年齢に合わせて楽しみ方を変えていくことができますが、中には、通常の例会では継続しにくいと感じる方々も出ています。

また、初心者講習会を開催する際、年齢制限をしていない場合が多く、高齢の方の参加数が増加する傾向にあります。講習会に受け入れた方に対しては、ご本人の希望に応じて誠意を持って対応していくことが求められます。

特に、70 歳を過ぎてスクエアダンスを始められた方々に対しては、今後、何らかの支援が必要になってきます。

高齢者のダンスについては、次のような声が聞かれます。

- ① 仲間のつながりを楽しみ、例会でも自分に合ったチップを、1～2 チップ踊ることで満足している方も多いようです。
- ② 夜の例会ではなく、昼間に踊れるようになったら、と願っている方も多くなっています。
- ③ 最近のパーティーは、スピードや意外性のあるコールに人気があります。そのため、これについていけない高齢者はパーティーに参加できなくなってきました。
- ④ スクエアダンスを止めないで、体が動く間、どこまで継続してスクエアダンスを楽しんでいけるか、その手段を模索してみる必要が出てきています。
- ⑤ 高齢者が踊りを続けられることに援助をしていかないことは、生涯学習・スポーツの理念に沿わないような気がします。
- ⑥ 高齢者への対応は、通常例会の域を超えて考える必要があるのではないのでしょうか。

2. 高齢者のダンスに関する課題

高齢者への対応には、下記のような共通した課題があります。公益性を考えた活動を進めるに当たって、どのように取り組んでいくかを考えていかなければなりません。

課題1. スクエアダンスを、高齢者が楽しめるレクリエーションにするには、何らかの工夫が必要です。スピード、動作の組み合わせやタイミング、スピードなどに配慮し、どのようなスクエアダンスが考えられるでしょうか？

課題2. 高齢者が参加できる（楽しめる）スクエアダンスは、一般ダンサーにとって、スピードや変化やタイミング等で満足できる踊りとは少し異なると思われます。一般ダンサーは高齢者が参加する（高齢者等に適合させた）スクエアダンスを共に楽しんで踊ってくれるでしょうか？共に楽しむための方法が考えられるでしょうか？

課題3. 高齢者を、一般ダンサーとは別な場で、高齢者に適合したスクエアダンスを踊って楽しんでもらってはどうかとの意見もあります。現在でも、高齢者を主な対象とするサークルがあります。生涯スポーツ・レクリエーションの普及を目指すS協の取り組みの一つとして、対象者別のダンスを支援していくことを、提唱していくことは可能でしょうか？

課題4. クラブ例会で高齢者を受け入れる場合、限られた例会時間の中で双方が満足いく例会運営を考えることが必要です。それを可能にするためには、どのような工夫が必要でしょうか？

課題5. 高齢者の状況には、地域によって大きな違いがあります。統括支部内の地域には、どのような課題があるでしょうか？

この10年で会員の高齢化は間違いなく進み、加齢に伴う退会者が増加していきます。体験者10万人計画と合わせて両輪で進めていかなければならない課題です。

3. クラブの皆様への実態調査のお願い

年々愛好者が高齢化していく傾向にあります。それに伴って様々な課題が出てきています。その課題に対応していくために、「70歳以上の会員の方についての実態調査」を行うことにいたしました。

この調査は個人に対して実施するものではなく、クラブとして把握している範囲内で、概ね70歳以上の方の様子を【別紙】によりご回答いただきますようお願いいたします。

【別紙】

70歳以上の会員についての実態調査

- クラブ名 _____
- 統括支部名 _____
- 調査記入者 _____
- 会員数 _____人
- 70歳以上の会員実態
 1. 各クラブにおける在席状況
 - ① 70歳以上 _____人 ② そのうち 80歳以上 _____人
 2. 70歳以上の会員のSDキャリア
 - ① 10年以上 _____人 ② 5年～9年 _____人 ③ 5年未満 _____人
 3. 70歳以上の会員の主として踊るプログラム
 - ① ベーシック _____人 ② メインストリーム _____人 ③ プラス以上 _____人
 4. 70歳以上の会員の例会出席状況
 - ① ほぼ毎回 _____人 ② 半分程度 _____人 ③ 半分以下 _____人
 5. 70歳以上の会員の外部パーティーの参加状況
 - ① よく参加している _____人 ② 時々参加している _____人 ③ 全く参加していない _____人
 6. 70歳以上の会員に配慮した特別なプログラムがありますか？（○印）
 - ① () 毎回ある ② () 時々ある ③ () ない
 - ① ある；②時々ある、と回答した方はその内容を記述して下さい。
[
 7. 70歳以上の会員は、スクエアダンスを継続していくために、どのようなことを望んでいますか。
[
 8. 70歳以上の会員が楽しめるような工夫を何かしていますか。
[
 9. 今後、70歳以上の会員への対応について、考えていることが何かありますか。
[

※ 各項目欄に書ききれない場合、裏面 あるいは 別紙への記載をお願いいたします。
※ アンケートへのご協力ありがとうございました。